

2020年度



関西大学  
東西学術研究所 第7回研究例会

【東アジアの思想と芸術の文化交渉研究班】

# 羅振玉の学術と藝術への新しいアプローチ

## プログラム

### 午前の部

司会/中村 史朗 (滋賀大学教授)

10:30 ~ 10:40

趣旨説明

陶 徳民 (研究員・関西大学文学部教授)

研究発表

10:40 ~ 11:00

「羅振玉と内藤湖南の書学交流  
—碑学研究と王羲之研究を例として—」  
石 永峰 (関西大学科研費研究員・神戸女子大学非常勤講師)

11:00 ~ 11:20

「日本における羅振玉の書法と書論の影響  
—大正期の関西圏を中心に—」  
張 亜敬 (関西大学東アジア文化研究科博士後期課程)

11:20 ~ 11:40

「羅振玉対大正日本の中國繪畫鑒藏之影響」  
邱 吉 (準研究員・関西大学東アジア文化研究科博士後期課程)

11:40 ~ 12:00

「從先師到德育家  
—羅振玉主編《教育世界》時期的孔子觀和日本の影響」  
張 子康 (関西大学東アジア文化研究科博士後期課程)

12:00 ~ 12:20

コメント  
菅野 智明 (筑波大学教授)

12:20 ~ 12:30

質疑応答

### 午後の部

司会/吾妻 重二 (東西学術研究所所長・関西大学文学部教授)

13:30 ~ 13:40

挨拶

吾妻 重二

講演

13:40 ~ 14:10

「羅振玉の近代日中学術交流史上における貢献  
—既発表拙稿の総括と今後の課題—」  
杉村 邦彦 (京都教育大学・四国大学名誉教授)

14:10 ~ 14:40

「羅振玉と草創期日本敦煌學」  
高田 時雄 (言語交渉研究班委嘱研究員・  
復旦大学歴史学系特聘教授・京都大学名誉教授)

14:40 ~ 14:55

休憩

司会/陶 徳民

研究報告

14:55 ~ 15:25

「上野コレクションにある羅振玉資料について」  
呉 孟晋 (京都国立博物館学芸部調査・国際連携室長)

15:25 ~ 15:55

「『流沙壁簡』の書的影响について」  
中村 史朗

15:55 ~ 16:15

コメント  
張 明傑 (慶應義塾大学非常勤講師・浙江工商大学特聘教授)

16:15 ~ 16:45

総合討論

2021年

1月15日(金)

10:30 ~ 16:45

Zoom ウェビナーにて

オンライン開催

聴講無料・事前申込制  
(先着 80名)

### お申込み方法

参加をご希望の方は、下記のQRコードまたはお申込URLにアクセスいただき、必要事項をご入力の上、お申込みください。

お申込 URL: <https://bit.ly/33V7xrH>

QRコードをご利用いただけない場合は、【ご住所・ご氏名・お電話番号・メールアドレス】を問い合わせ先までご連絡ください。



### 問い合わせ先

関西大学 研究所事務 グループ

e-mail: [touzaiken@ml.kandai.jp](mailto:touzaiken@ml.kandai.jp)

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35

Tel: 06-6368-0653 Fax: 06-6339-7721